

## 「那珂川水系河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成27年9月27日（日）13:00～13:20

会 場：①国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所

発言者：公述人1

このような場、慣れていないので、お聞き苦しい点がありましたらご容赦願います。

まず最初に、長く住んでいる那珂川の住民の代表として、このような意見を述べる機会を頂き、誠にありがとうございます。関係各社の方に感謝いたします。

また、今回、常総市における災害とか、そういう部分に関して、皆様の普段からの治水や利水に関しての努力と、臨時に堤防をつくったりしたりする部分の対応力とか、そういった部分に驚嘆するとともに、改めて感謝を申し上げたいと思います。

災害時にしか堤防のありがたさとか重要性に関しては認識されない部分があるんですけど、そこら辺は人間の身勝手な部分というか、そういった部分なので、そういう部分を陰ながら普段から努力していただいている皆さんに改めて感謝したいと思います。

私も50年ぐらいずっと那珂川と久慈川に挟まれた地域に住んでまして、那珂川に関しても61年の大洪水のときに洪水を経験させていただきました。今回の台風18号に関しても、年間の降水量が2,000mmぐらいのところ、1日500mmぐらい降ったという話も聞きますので、そういった中で那珂川に関しては堤防も決壊することなく、無事に過ごしたことにしましては、普段の治水に関して皆様の計画が間違っていなかったものと痛感します。

では、整備計画の原案の中身について、具体的に意見を述べさせていただきたいと思います。

治水や利水に関して、また堤防のハード面に関しては、ちょっと専門分野でないのかわからないですけど、優先順位をつけていただいて、なるべく低予算でB/Cの高い順から整備していただければいいかなとは思っています。

私が配らせていただいた意見というか、レジュメに基づいてちょっと話をさせていただきます。

まず整備計画の中の5-1-3の「人と河川との豊かなふれ合いの確保に関する整備に関して」という部分の中で、現状、そういった活動の部分でイベント関係を行っていると思うんですけど、私がホームページからとったもので、去年、常陸河川事務所さんでやっているイベント関係で言いますと、水生生物による水質の簡易調査、建設フェスタ、GOM I zeroクリーンアップ那珂川・御前山アンド河原で焼き芋といったようなイベントを拾うことができました。これ以外にもいろいろな部分で通常のイベント関係行われていると思うんですけど、自分の意見としては、こういったソフトの面のより一層の充実、それによって河川の利用とか環境学習とかいった部分がより深まって、地域住民から意見を聴取することによって、治水や利水、防災に関しての認識が向上するのではないかなと思います。

強いては、それが河川整備の理解につながる部分ではないかなと思うので、今後ともより一層のイベントを含めた、そういったソフト面での充実を図っていただきたいなと思います。

具体的に言えば、例えばGOM I zeroクリーンアップ那珂川・御前山といったようなイベント、これごみ拾いのイベントみたいなんですけど、例えば河川での不法投棄の部分が問題になっている部分で、その啓蒙活動の一つとしてこういったようなごみ拾いのイベント一つ入れることによって、住民とのふ

れ合いにもなりますし、その中でいろいろな防災に対しての教育をやったりとか、そういったような直接ふれ合う機会がふえてくると思いますので、そういった部分を充実していただきたいなと思います。

もう1点の方ですね、5-2-1の「地域における防災向上に関して」、今回の鬼怒川での洪水に関しても、いろいろな部分で情報が行き交っていた部分があると思います。主としてテレビとか新聞とか、そういった部分になっていると思うんですけども、そういった中で、河川事務所さんの方でもやっぱり直接生の情報を発せる立場にあるので、情報チャンネルの部分をより充実していただいて生の情報を提供していただけたらなと思います。

その中で、河川事務所さんの方で発表する機会として記者発表、記者発表を通じて新聞、テレビ等に伝える、あとはホームページ、あとツイッター等のSNSも利用していると思います。ただ、現状として見ると、常陸河川事務所さんのフォロワーさんが284名ぐらいなので、これが災害時の情報伝達手段として有用性があるかどうかという部分はちょっと疑問に持たれる部分だと思います。

また、同じような茨城県の情報の提供のツイッターだと大体4万8,000人ぐらいのフォロワーさんがいる。県警あたりでも2万人ぐらいのフォロワーがあって、その中でこういったような災害に関して皆さんがかなり興味を持ってというか、本当に生死を分けるような情報を共有していると、そういった事態がありますので、そういった部分で現状の情報伝達手段としてどうなのかなという部分は感じます。要望として、今言ったようにツイッターあたりも、より身近な情報、災害時の情報とかいった部分を充実してもらうとともに、あとホームページのレスポンスデザインというか、結局現状でスマートフォンとかiPad等に対応したデザインにはなっていないと思うんですけど、ここら辺も直接河川事務所さんのホームページを見に来るときに、なるべくだったらホームページ、スマートフォンでもiPadでも見やすいような形に直していただけたらなと思っています。

あと、先ほど言ったように、ツイッターも含めてフェイスブックとか、今若者にはやっているLINEとか、そういった部分の多チャンネル化ですか、そういった部分をしていただきたいなと。特にLINEなどは若者向けのチャンネルとしては有効な手段ですし、お知らせ機能とかありますので、こちらから積極的に伝えるプッシュ情報に関してはかなり有効な手段になると思います。私なんかも政府の広報関係のLINEとか見てますけれども、やはりそこら辺の部分、結構印象に残るような部分で情報が伝わってきていますので、そこら辺もできる範囲で有効にしていきたいなと。

あわせて、コンテンツの部分ですね。これはより具体的な部分で突っ込んだ話になりますけれども、まず那珂川あたりに河川事務所さんが設置した定点カメラがあると思うんですけども、こういった情報、水府橋などの定点カメラの情報は定期的にライブカメラみたいな形で発信していると思うんですけども、それがあある場所、例えば4カ所とか5カ所とか設置されているんでしたら、それをライブカメラみたいな情報で常時発信していただきたいなと。

というのは、例えば那珂川の中流域の野口付近、御前山あたりの例えば定点カメラですと、そこら辺の河川、災害時の情報も含めて、アウトドアスポーツなどやっている、特にキャンプとかバーベキューやっている人などにとっては、この河川の状況が映ることによって現状がわかりやすいとか、あとはもちろん景観地に関しては、そこら辺の周りの情報も含めてわかりやすくという部分があるので、できればそういった部分の定点カメラの情報が常時入っているのであれば、ライブカメラ等の部分で発信していただきたいなと思います。

私の見た範囲では、下館の河川事務所さんあたりだと1時間に1回定点カメラの画像をツイッターで

やっていますよね。ただ、これは動画じゃなくて普通の画像を張りつけただけの状況なので、これしかできないのかもしれないですけど、そこら辺の部分があるとありがたいなと思います。

その次に、ハザードマップ等いろいろつくっていただいているんですけども、これも平面上でちょっと見づらい部分があるので、これをリアルタイムでわかるようなハザードマップでビジュアル化できないのかなという部分は感じます。

あと、あわせて、ごみマップとか、そういった部分もつくられているんですけども、そこら辺の部分もちょっとわかりづらいなという部分があるので、今結構そこら辺の部分でビジュアル化の部分、3D化みたいな形でしていただけるとわかりやすいのかなという部分を感じます。

あと、あわせて、防災知識の提供ですね。水の怖さを認識していただくとか、避難の仕方に関してどういった部分がいいのか、あとは着衣を着た段階でおぼれてしまうと身動きがとれなくて危険だよとか、そういったような部分の防災の部分の知識、ノウハウみたいな部分をホームページ上に載せていただけるといいのかなという感じはします。

結構こういった部分はどこで教えてもらうのかとか、どういったところで情報を提供しているとかわからない部分があるので、そこら辺の部分もコンテンツとして入れていただければなと思います。

あと、結構知られていないのは、河川に関しての環境をかなり河川事務所さんの方で調べて、例えば魚とか植物とか、そういった部分に関してかなりの情報を持っていると思うんですけども、それをやっていることじたい、地域住民の人たちは余りわかっていないと思うんですよね。そこら辺の部分、例えば魚図鑑みたいな部分で、例えばホームページ上に載せていただいて、それでアクセスが増えれば、いざとなった防災のときに河川事務所さんのホームページとか、そういった部分で人が見に来るような部分になるのではないかなと思います。

いろいろなネットを使った情報発信することで、またあといろいろな多チャンネル化して発信することで、今やっている治水とか利水関係、あとは環境に関してのいろいろな河川事務所さんの活動に関して、あとの計画に関して理解が深まる機会になればいいかなと。情報を接するアクセスポイントみたいなものを増やしていただいて、より一層の本当のあるべき姿の活動に対して理解が深まるといいのかなと思います。

私の方からは以上です。

以上